



つるい 納涼まつり



7月25日に総合センター前庭にて「つるい納涼まつり」が開催されました。今年も村内外から多数の飲食店が出店し、「かなでーる」の大正琴による美しい音色の演奏で幕を開けました。

恒例の牛乳早飲み競争では、大人も子供も僅差での勝負となり、大いに盛り上がりました。また、「ピエロのぐっち」によるスペシャルバルーンショーでは、最後にポケモンやアンパンマンなどのバルーンが配られ、バルーンを手にした子供たちの笑顔で会場は一層にぎわいました。



令和7年度鶴居村ふるさと創生中学生派遣交流事業

～赤井川中学校との交流～



7月8日～10日の2泊3日の行程で鶴居中学校2年生を対象に、鶴居村ふるさと創生中学生派遣交流事業を実施しました。本年度も昨年度に引き続き、「日本で最も美しい村」連合に加盟している赤井川村立赤井川中学校の2年生との交流と赤井川村役場を訪問させていただきました。

この事業では、鶴居村に愛着と誇りを持ち、豊かな人間性を持った「鶴居びと」を育て、これからの鶴居村の村づくりについて一人ひとりが自分ごととして考えられるようになることを目指しています。

交流に向けた準備として、総合的な学習の時間を活用し、鶴居村の概要や村づくり、タンチョウの生態・保護について学習を行いました。また、赤井川村の村づくりについても事前学習を行い、役場訪問で質問することをまとめた質問リストを作成しました。

中学校との交流では、事前学習で作成した資料に沿って、鶴居村の村づくりやタンチョウについての発表を行いました。



た。赤井川中学校からは、伝統芸能であるカルデラ太鼓の演奏が行われ、お互いの学校の取り組みを学び合いました。発表を通し、鶴居村と赤井川村の良さや違いについて理解を深めるとともに、生徒同士の交流も深まった事業となりました。

役場訪問では、赤井川村役場総務課職員から、赤井川村の村づくりについて説明をしていただきました。また、事前学習で生徒たちが作成した質問リストに対しても、分かりやすく丁寧な受け答えをいただきました。赤井川村の馬場村長や赤井川教育委員会の根井教育長からも村づくりについて説明していただき、生徒1人ひとりが感じている、ふるさと鶴居村の素晴らしさを再認識することができたと思います。

今後も、次世代を担う鶴居村の子どもたちが、他の地域での体験や経験を通して、豊かな人間性と創造力を身に付けた「鶴居びと」として成長していくことを願っています。

～鶴居村PR活動～



7月8日、新千歳空港のセンタープラザの一部をお借りして、鶴居村PR活動を実施しました。

この取組は、鶴居村ふるさと創生中学生派遣交流事業の趣旨「創造性豊かな人材（鶴居びと）の育成」を目指して行いました。PR活動では、空港内の旅行客に鶴居村観光ガイドブックやふるさと納税のパフレットなどを生徒から1つずつ手渡ししました。

鶴居村を知らない人に自ら声をかけ、この事業を通して学んだ村の魅力、中学生から見えている鶴居村の良さ、知っていただきたいところを、自分の言葉で精一杯届けました。

限りある時間ではありましたが、生徒たちにとって貴重な経験となる活動となりました。



鶴居中学校ボランティア委員会が日本善行表彰受賞

7月14日、役場応接室にて、日本善行会の春季善行表彰が行われ、日本善行会釧路支部の鶴沼康有支部長（写真左）から鶴居中学校ボランティア委員会に賞状が伝達されました。

当日は、名和勝紀鶴居中学校長が表彰状と盾を受け取りました。

鶴居中学校ボランティア委員会は1998年4月から活動を始め、ベルマーク回収や共同募金、校外清掃のほか、タンチョウの一斉調査や餌となるデントコーンの収穫も担うなど地域住民とも手を取り合って地域に貢献してきました。

あらためまして、その功績に敬意を表します。



伊東良孝内閣府特命担当相が鶴居村を視察

村では、今年度より国が実施する「地方創生伴走支援制度」の対象自治体として採択されており、現在、地方創生支援官による継続的な支援を受けています。7月24日から26日かけては、支援官3名が鶴居村を訪問し、村釧路湿原観光コンテンツ創出事業プロジェクト会議の出席など、地域の実情把握や関係者との意見交換が行われました。

この支援官の現地訪問に合わせ、7月25日には伊東良孝内閣府特命担当大臣（地方創生担当）が鶴居村を視察され、支援官の取り組み状況や今後の展望について意見を交わした他、地域資源を活かした観光・産業の現場として、クラフトビール工場や「つるいむら湿原温泉ホテル」も訪問され、村の取り組みに耳を傾けられました。

また、同日開催された「つるい納涼まつり」には来賓としてご出席いただき、地域住民との交流も図られました。

釧路湿原を「稼げる観光」へ

村釧路湿原観光コンテンツ創出協議会（会長：大石正行村長）は、7月24日・25日の3日間にわたり、「稼げる観光」の実現に向けた取り組みの一環として、釧路湿原国立公園エリアを舞台にしたアドベンチャートラベル推進のプロジェクト会議および現地視察、意見交換会を開催しました。

本会議には、村内の観光事業者をはじめ、村、北海道、国などの関係機関の担当者が参加。また、今年度から村が国の「地方創生伴走支援制度」による支援を受けていることから、地方創生支援官も出席し、地域の課題や今後の展望について活発な意見交換が行われました。

また、現地視察では、釧路湿原国立公園の宮島岬エリアなどを巡り、自然環境の保全と観光利用のバランス、土地所有者との調整等に関する課題についても意見を交わし、利用ルールの在り方などについても議論が交わされました。



ロゼスパークリングワイン「tsuru to teshika」発売

弟子屈・鶴居ワイン特区で初のコラボワインとなるロゼスパークリング「tsuru to teshika 2024」が7月25日より発売されました。

「tsuru to teshika」は、添加物を使用していないナチュラルワインで、柑橘系の香りと味わいを持つ弟子屈産の山幸と、アンズや桃のような甘い香りの鶴居産の山幸を別々のタンクで野生酵母によって発酵させ、瓶詰め直前に同量ずつブレンドして醸造されました。

村内では、つるぼーの家にて購入できます。温度によって味や香りが変化する様子もお楽しみください。



令和7年度戦没者追悼式

8月8日に鶴居市街地の忠魂碑前にて戦没者の遺族来賓、関係者などが参列し、戦没者追悼式が執り行われました。

追悼式では、先の大戦において犠牲となられた方々へ1分間の黙祷を捧げました。また、大石村長の式辞に続き、松井村議会議長や北海道連合遺族会長等から追悼の辞が述べられ、ご遺族、関係者による白菊の献花が行われました。

当日は30度近い気温の晴れ渡った空の下、参列者は亡くなられた方々への追悼とともに、平和への願いを新たにしました。

包括連携協定締結

8月13日に鶴居村、釧路市、中央大学、釧路公立大学との包括連携協定が締結されました。

この連携協定により、中央大学と釧路公立大学の教育・研究分野における協力関係を基盤に、釧路市と鶴居村を加えた4者が連携を強化し、まちづくりや地域活性化など幅広い分野で包括的な連携を推進します。

この連携協定により、地域課題の解決や大学の教育・研究の充実を図り、持続可能で公正な社会の発展に貢献することを目的としています。



2025TSURUI PREMIUM TICKET

#

2025 鶴居村

美しい村プレミアム商品券

13,000円(500円×26枚)

商品券有効期間:令和7年9月5日(金)~令和7年12月31日(水)

鶴居村商工会



美しい村プレミアム商品券販売開始

9月5日から鶴居村商工会より「美しい村プレミアム商品券」が販売されます。今年度もプレミア率が30%となり、1万円の購入で500円の商品券26枚綴の1万3千円分となります。

また、商品券で6カ所の取扱店を巡りスタンプを集めると、鶴居村温泉ペア宿泊券など豪華賞品が当たるスタンプラリーも実施されます。

村内の方はもちろん、村外の方もご購入が可能です。販売日時や場所などの詳細は左記QRコードよりご確認ください。多くの方のご購入をお待ちしています。